

あなたからのありがとうございます  
ありがとう

# 広報紙なごみ

岩手県花巻市東和町安俵6区97番地  
特定非営利活動法人ゆう・ゆう  
発行：グループホームなごみ・なごみⅡ  
電話 0198-43-1050  
FAX 0198-42-1753  
Email [nagomi@cup.ocn.ne.jp](mailto:nagomi@cup.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.yuyu-nagomi.com>

204号 令和4年5月1日発行



なごみⅡご一行が菅原サト子様邸の敷地に  
咲き誇る桜を満喫しました。勿論花よりだ  
んごも忘れず！

# なごみの暮らし

それぞれの春



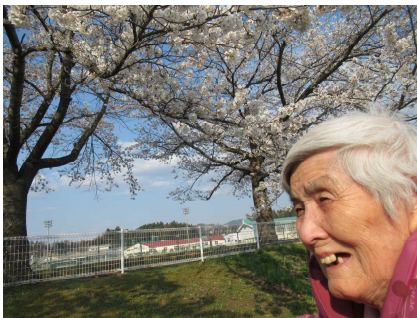
なごみの鯉のぼり



展勝地まで行かなくてもこんなにきれいな桜が見られるよ。



「お陰さんで花見が出来るよ  
おどさん」



桜も素敵だけどヨシさんの笑顔も素敵だよ。



ある日の中庭でのお茶会。「なんたら気持ちいいごと」



4月25日停電時を想定しての緊急時訓練を行いました。自家発電機で明かりを採り、カセットコンロで煮炊きをして非常食対応。



なごみの桜まつりに向けて飾り付けに追われました。今年の開花は早かったですね。



「観光船が転覆したんだってよ。悲しいわ」

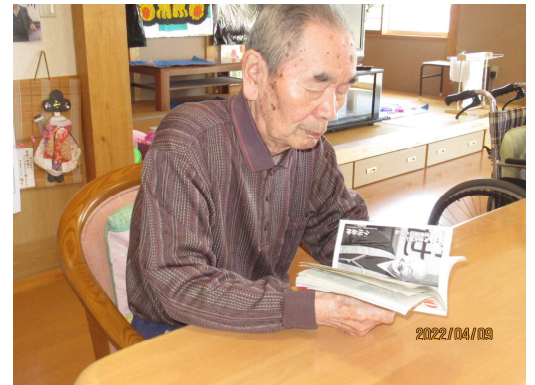
# なごみⅡの暮らし



なごみⅡは夜桜の壁飾り



4月19日は晴天に恵まれ、桜もちょうど見頃。9人全員が揃ってお花見ドライブに出かけました。外で食べる団子はやはり格別ですね。



輝久三様は最近PHPがお気に入り、今日も目を通していただきます。



乾杯！

ビールで乾杯だ！酒なくてなんの己が桜かな。

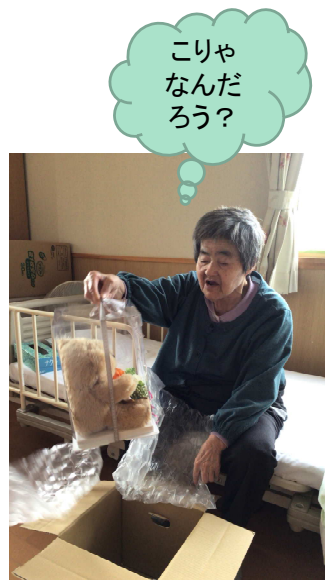


中庭はレンギョウも黄色い花を咲かせ、それを眺めながらのお茶はとても気持ちがいいです。

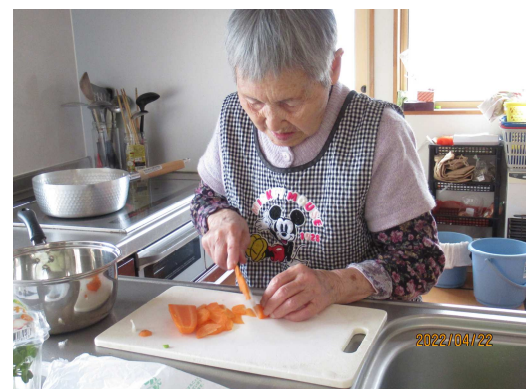
照る日くもる日いろいろあるさ 雨降り風吹きそして晴れ これが人生それが人生



バレーボール大会に新しい選手が加わりました。強力なアタッカーが登場！



こりやなんだろう？



藤原様は入居早々厨房で料理はするは、お掃除はするは・・・で、とても高齢とは思えない身のこなしにビックリ。

娘様からの贈り物を開けてビックリ！

行楽日和の爽やかな季節になりました。未だコロナが続いておりなかなか集団では外出できないものの、天気の良い日などは日光浴や散歩を楽しむ時間が多くなりました。

入居者様の中には、集団生活の中では遠慮して自分を上手く表現できない方もおられます。そのような時は1対1の散歩で生き生きとされ会話もはずみます。少しでも楽しそうな笑顔を見るとこちらまで嬉しくなるものです。

そのような時間を大切に、コロナと相談しながら穏やかに過ごしていますが、いつになったらコロナが終息するのでしょうか。早く大勢で大手を振って出掛けたいものです。

コロナ以外にもスッキリしないことがあります。毎日テレビから流れる某国の暗いニュースです。信じられない映像が流れるたび憂鬱で悲しい気持ちになります。

『世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない』宮沢賢治の言葉です。

本当そうだよな～と痛感。早く世界中が平穏になりますように。心からそう思います。 なごみ介護員 佐々木ひろみ

暖かい日が続くようになり、過ごしやすくなりました。なごみⅡでも先日、お花見に出掛けて来ました。

今年も入居者のS様宅の桜を見物させて頂き、満開の桜に皆様「とっても綺麗だ」「見れて良かった」と、とても喜んでいたりとか。(私は留守番でした。行きたかった…)外出の機会が限られる現在ですが、このように時々外の空気を吸って気分転換をはかりたいと思います。

私は介護員兼事務員としてなごみⅡに勤務して5年目になりますが、現場では他の職員に代わってもらわないと出来ないお世話があったり、事務も出来る仕事に限られていて迷惑をかける事が多い状態です。

まだまだ勉強が足りませんが、「おめさん今日いるのか?いがった～」と声を掛けてくれる入居者様もいて元気をもらっています。中堅職員として、出来る事を増やすこと、楽しんで仕事をする事を心掛け、今年度も頑張りたいと思います。

なごみⅡ介護員 加藤 寛久

## 5月の主な行事

5月18日 決算監査

5月21日 決算理事会・総会

お陰様です

石持 佐藤清子様 自家発電機 1台



なごみの一輪  
挿し

## 窓辺から見える風景

桜の花も風に舞いながら散り始めてきました。朝夕は冷え込んでストーブで暖を取ることもありますが、日中は急激に暑くなったりとまだまだ気温の変化には気を付けなければなりません。何年か前に暖かさに誘われて”金のなる木”を外に出して、霜の被害にあった苦い経験があります。

最近、入居者様は家の中にばかりいることに飽き飽きして外に出始めてきました。冬の厳しさをしのいで、待ちに待った春が巡ってきたのですから誰も同じです。

中庭で麗らかな陽差しを浴びながらお茶を飲む皆さんの顔は何とも言われぬ満足感が漂っています。

そして、それぞれが職員とマンツーマンの花見を楽しむ光景がしばらく見られました。「外の空気を吸うのは気持ちの良いものだね」と開放感を身体全体で感じているように見えました。

手を携えて歩きながら浮かんできた言葉があります。

「子供叱るな 来た道じゃ 年寄り笑うな 行く道じゃ 来た道行く道二人旅 これから通る今日の道 通り直しの出来ぬ道」

永六輔著「大往生」に出て来る言葉ですが、味わい深い言葉です。

そうですね。いきなり老人になった訳でなし、好んでなった訳でなし。それを受け入れるしかないのですが、これがなかなか難しいことです。

私事ですが、今月から後期高齢者被保険者証に切り替わることになりました。昭和30年代の学生時代には70歳まで生きれば良いかな!とと思っていましたが、古希を迎えたときは75歳までを目標に人生設計を立てました。そして、目出度くその目標に到達したのでこれからの5年間に何をなそうか、今度は80歳を目標に法人の永續と家庭の幸せに繋がる新計画を練り直そうと思っています。

こうしていつしか入居者様と同じ道を歩んでいます。なごみ憲法の一項目に「入居者様の気持ちを肯定したり否定したりするのではなく、あるがままを受け止め、決して職員の価値判断で善し悪しを決めずあるがままを認めます」という言葉があります。

これが所謂”傾聴”ということですが、自分の話ばかりを押しつけることなく、まずは相手の話を聞き、時には頷き、時には合いの手を入れ、入居者様が主役であることを忘れないように手を携えていきたいものだと思います。やがてはその主役に私もなるのですから。

なごみ統括 佐藤 俊一